

おにがうすでんしょういせきぐん 鬼ヶ臼伝承遺跡群 ～鬼伝説の残る地～

2月と言えば節分。今回は鬼にちなんだ伝承の地を紹介します。

高瀬町上高瀬地区と勝間地区にかけて裾野が広がる「鬼ヶ臼山」。山頂に残る高さ5mほどの巨石が、まるで臼を思わせる形をしていることから、その名がつけました。そこにはこんな話が伝えられています。

昔、この山には荒々しい男神が住んでおり、里に下りては人を捕まえ、臼について食べていました。村人の難渋を見た女神は、男神に「私の赤ん坊とあなたの馬とで飛び比べをして、赤ん坊が勝てばこれ以上乱暴をしないように」と持ちかけました。

男神もこれを承諾し飛び比べを行ったところ見事赤ん坊の勝ち。以来男神の悪行は治まり、赤ん坊は村人たちにより「山の神」として大切に祀られました。

今も、ふもとの末地域の岩鍋池の近くにある岩には、赤ん坊と馬が飛び降りた際の足跡が残っており、山頂部を含めたこれらの遺跡群は市の史跡に指定されています。

また周辺には男神に食べられた人々の首が山になったという「首山」や、臼からあふれた血でできた「血の池」といったぞっとするような地名もあります。このように地名一つとっても、調べてみるとその土地の伝承、その土地がどんな歴史を歩んできたかをうかがい知ることができます。大切に語り継いでいきたいものです。

<生涯学習課>



今月の市民力

「厳粛な中にも楽しく思い出深い成人式にしたい」と、新成人17人が企画・運営スタッフとして何度も会議を重ね、準備を進めてきました。

この日は、新成人に渡す記念品づくり。学生時代の懐かしい味ポングジュースやメッセージカードを入れた記念品を心を込めてラッピングし、約600個を用意しました。

一度しかない成人式。それを自分たちの手でやりたいと、企画から当日の受付や司会進行までスタッフが行った手作りの成人式は、温かみのある思い出深いものとなりました。

